



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121  
 会長 荒木康雄 幹事 向山賢悟 会報委員長 唐木 拓 第2987回 例会2023.4.20 No.1648



2022-23 年度 RI テーマ

IMAGINE ROTARY

ソング それでこそロータリー

## 会長談話 荒木康雄会長

一昨日、武道館で行われたエリック・クラプトンのコンサートに行き感動しました。クラプトンは1945年生まれのイギリスのミュージシャンで今年78歳、史上最も影響力のあるギタリストの一人とされています。デビュー60周年の今年は23回目の来日公演で6回公演が行われ、明日21日は海外アーティスト史上最多の武道館100回目の公演を迎えます。一昨日は久しぶりにライブコンサートに行き感動しました。



さて、本日4/20は「郵政記念日」です。今から152年前の1871年4月20日に東京大阪間で日本の郵便事業が始まりました。日本の郵便制度の創設者であり「日本近代郵便の父」と呼ばれる「前島密（ひそか）」によって官営で開設されました。前島密は現在の1円切手の肖像でも知られていますが、「郵政事業の創設」の他に「漢字廃止の建議」「江戸遷都の建言」「鉄道建設の立案」「新聞事業の育成」「陸運元会社の創立」「電話事業の開始」「海運政策の建議」等、現在の社会の基盤となる数多くの事業に携わりました。その前島密が揮毫したとされる書が南箕輪村沢尻の日本キリスト教団・伊那坂下教会にあるそうです。聖書の言葉を記した書で、旧教会堂を新築した明治20年のクリスマス頃に前島密が教会を訪れ、書を残したと伝わっているそうです。どういういきさつで揮毫されたのかはわからないようですが、寄贈を受けた翌年に書の額装費用を工面するために教会に寄付された米を2円5銭で売却した記録が残っていて、信憑性は高いとのこと。書は礼拝堂のロビーに掲げられているようで、上伊那の歴史を伝える価値ある資料であると思われます。毎年4月20日の郵政記念日を含む一週間を「切手趣味週間」とし、記念切手が発行されます。日本最初の切手は七宝の輪郭文様の中に竜が描かれていたために「竜文切手」と呼ばれています。最

初に発行されたのは48文、100文、200文、500文の四種類でした。ちなみに、世界で初めての切手は1840年イギリスにて当時のエリザベス女王の肖像画が描かれているものだそうです。現在はメールやラインなどが伝達の主流をなしていますが、郵政記念日に当たり、改めて手紙や葉書の良さを考えてみてはいかがでしょうか。

幹事報告 別紙をご覧ください

## 委員会報告

飯島松一職業・社会奉仕副委員長より、5月21日(日)予定の環境保全例会の概要が説明された。

出席報告 会員数56名 内出席免除19名 出席者23名 事前メーキャップ0名 出席53.48%

## ニコニコボックス

- ・荒木康雄 ニシザワデパート跡地ビル1Fにテナントでローソンが本日オープン致しました。
- ・山田 益 地区協にオンラインで参加しました。
- ・藤澤秀敬・藤澤洋二 プロドライバー事故防止コンクールで、伊那タクシーが7年連続最優秀賞を受賞しました。

## 第63期ロータリー財団寄付認証者発表

MPHF (5回)山田 益

(1回)小坂樫男・小林句子



## 地区研修・協議会報告

## ○会長・幹事部会

## 山田 益会長エレクト・唐澤幸利次期幹事

2023-24年度 RI テーマ「世界に希望を生み出そう」を地区方針の骨子として「ロータリー行動計画をポリオ根絶活動を通じて地区全体として明確に実現する」という力強いメッセージを受け取りました。本会議では、折井年度の重点方針であるポリオ根絶に関連して、伊藤雅基第2地域ポリオ根絶コーディネーターより「ポリオの現状について」ご説明を頂きました。2026年度に終息宣言を出すためには、2023年の活動で根絶を成し遂げる必要があること、また、ポリオ根絶活動の意義などについて



てあらためて理解を深めることができました。

#### ○会員増強部会 増田 清次期会員増強委員長

委員会の目標を達成するために、入会しやすいクラブ作りや運営費を下げるなど、クラブの改革や合理化を進めることが重要である。近年の会員減少の実態は、若い経営者が多忙である、活動に興味を持っていない、期待していた内容と違ったなど否定感を持って退会するケースがある。これらを回避するためには、慣習や伝統に捉われず居心地の良いクラブを作る事が必須。委員会を活性化させ、柔軟なクラブ運営を目指す必要がある。



#### ○公共イメージ向上部会

##### 本田敏和次期クラブ会報委員長

#### ○目的・目標

地区ロータリー会員が減少傾向にあり、予算、委員会運営体制にも一層の合理化、効率化が求められる中、地区広報活動の活性化を図るため、委員会の取り組みや、地区広報のあり方を再検証し、社会の変化に即した広報活動を目指す。



#### ○次年度の計画・重点事業

・地区広報活動の活性化実現のため、地区と各クラブの公共イメージ向上委員会が連携し、組織体系の再構築に取り組む。

・「ポリオ根絶」という次期折井年度の重点目標を地区全体にアピールするため、実施時期、メディアなどの最適な広報の在り方を委員会で研究する。

・11/11, 12日の地区大会に向け、ロータリー活動への理解と賛同拡大に資する広報を実施する。

#### ○職業奉仕部会

##### 唐澤洋祐次期職業・社会奉仕副委員長

#### ○委員会の目的・目標

友愛と寛容の精神で、いろいろな違う職種の人達との質の高い異業種交流によって自己研鑽の修業の場として己の人間力を高めて、自分の職業を通じて人のため、地域のため、世の中のために貢献する。



#### ○今年度の計画・重点事業

「ロータリーから信州を元気に」するために会社や地域で「心と体の健康」を推進する。

#### ○その他

特に会員、家族、各事業所の従業員、子供の心の健康（メンタルヘルス）に関する活動を行う予定。

#### ○青少年奉仕部会 唐澤幸利次期幹事代読 八木沢真次期青少年奉仕委員長

・今年度は6名程度の交換留学を実施した。来年

度も同様の交換留学事業に取り組む。定員は4人で、基本的には先着順となる。どうしてもクラブから派遣したい場合は、そのクラブで派遣費用を負担すれば定員を増やす。

・今年度の RYLA については、駒ヶ根で5月に開催される。とても有意義な事業なので、やるからには「RYLA を開催しているロータリー」という PR が必要だ

・インターアクトは基本的に昨年と同じ活動となる。その他の意見交換の中で、「ローターアクトは会員が減少しており、全県で一つになるべきではないか」との意見が複数ありました。

#### ○ロータリー財団部会

##### 唐木 章次期国際奉仕・財団副委員長

国際奉仕活動や世界を救う事業に於いて、補助金をどの様に活用すべきかを当地区の各クラブ及びロータリアンに申請方法を含め理解を深める事を目標としています。



財団への寄付金が3年間運用され、その後地区財団活動資金（DDF）として利用されます。地元や地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい短期的な活動を支援します。そして、DDFの50%までの資金が利用出来ます。当クラブでも毎年地区補助金を申請して地元の人達に支援している事業がそれに当たります。もう一つの重要な事業として、ポリオプラスがあります。DDFの20%をポリオプラスに寄贈します。私たちロータリアンは、1人30ドルの寄付になります。世界各国の新生児らに毎年ワクチン接種を続けるという事です。ポリオ根絶はもう少しですが、世界では新生児の増加も見られ、今はワクチン接種の資金が最も必要な時です。ポリオを根絶する事は、私達の子や孫そして子孫をポリオから守る事に他なりません。

以上の様な活動をして行くために、各セミナーを実施して行くという説明がありました。

#### ○デジタル化推進部会 唐木 拓地区デジタル化推進委員会副委員長

各クラブでのデジタル化の推進状況の取り組みとして

・完全ペーパーレス化を目指す  
・例会の様子を Youtube で共有  
・会員間でチャットの利用、などの取り組みをしているクラブもありました。また、次期の委員会では、

・地区の HP の内容充実  
・月信のデジタル化  
・各クラブの事務局へのセミナーなどの補助を実施する方向です。月一回の Zoom での委員会を開催していますが、次期も引き続いて開催することになりました。

